

# 経営比較分析表（令和2年度決算）

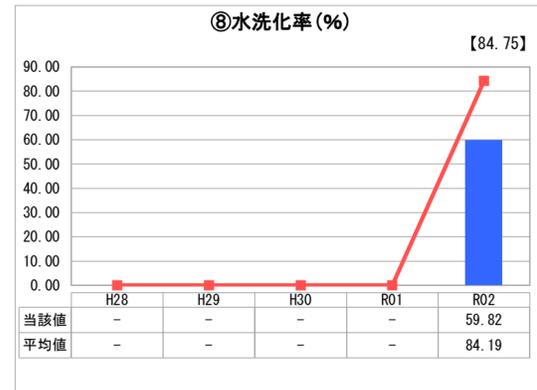
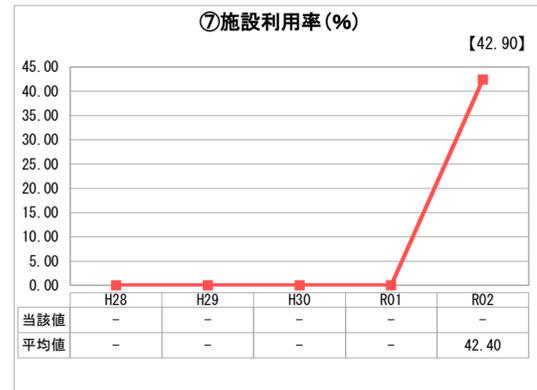
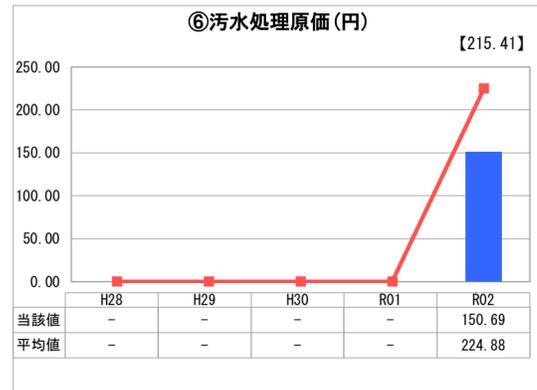
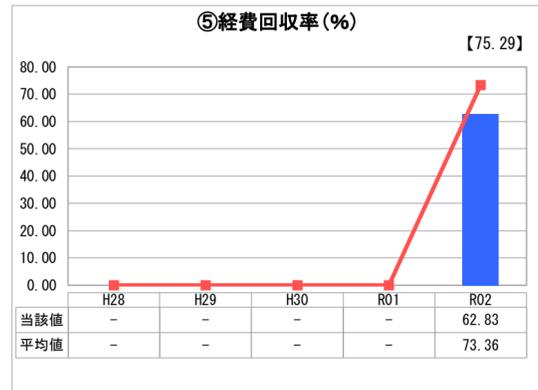
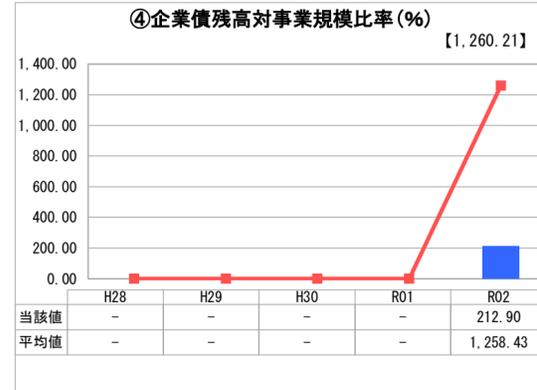
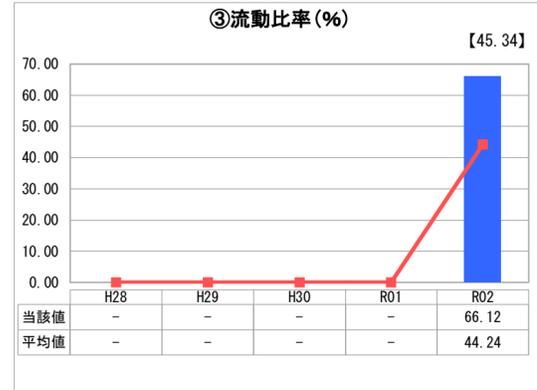
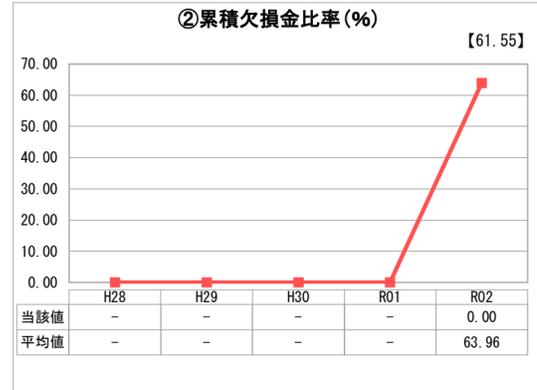
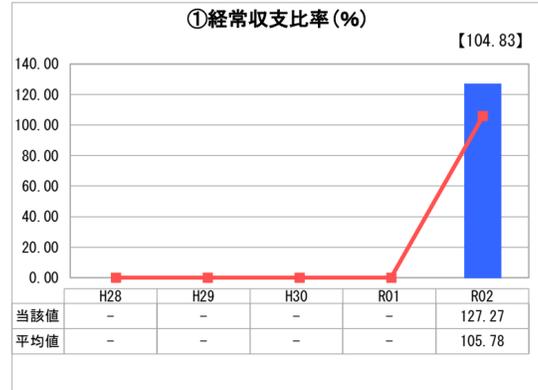
奈良県 御所市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	61.46	5.87	87.00	2,420

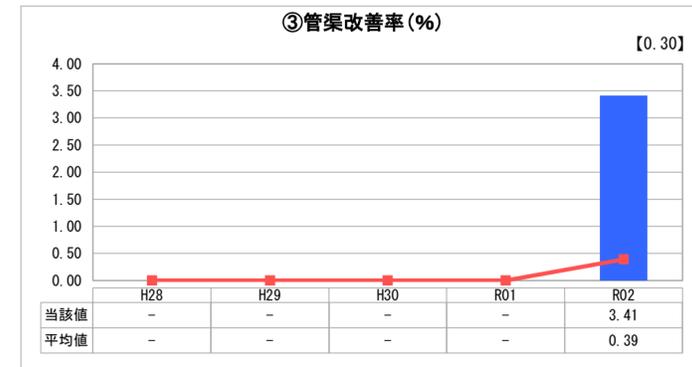
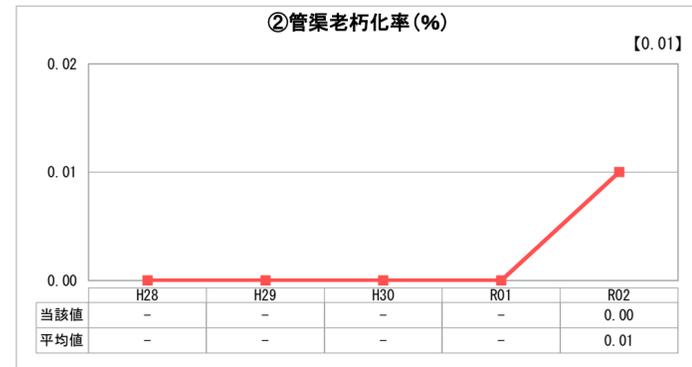
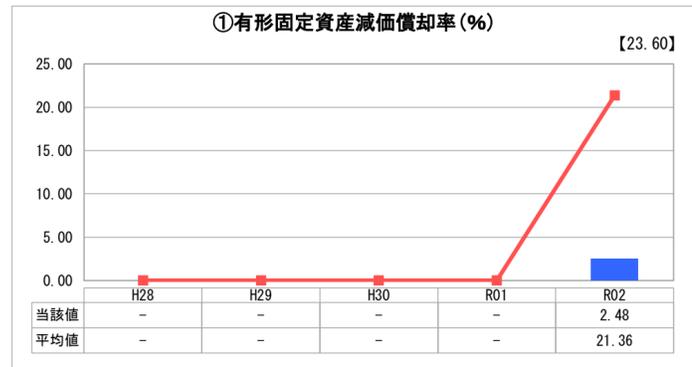
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
25,067	60.58	413.78
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
1,461	0.65	2,247.69

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和2年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

本市では令和2年度から下水道事業会計を法適化し、企業会計として初の決算を迎えたところである。収益的収支においては黒字決算となっているが、主要な要因としては、基準外繰入金を相当額一般会計より繰入しているためであり、公営企業として安定した経営体制は構築できていない。

### 2. 老朽化の状況について

本市の下水道事業は、平成9年度に建設開始し、平成14年度から供用開始している。老朽化に起因する管渠の閉塞・陥没等の事例はまだないが、今後更新経費の確保が課題となる。

### 全体総括

経営戦略における収支見通しにおいて、今後、人口減少・高齢化等により料金収入の減が見込まれることから、費用対効果を念頭にいた財政運営が不可欠である。特に、今後老朽化する管渠更新経費の確保が喫緊の課題であることから、ストックマネジメント計画を策定し、有利な財源確保及び重点施工箇所の把握に努めてまいりたい。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。